



主催者式辞 重富 亮会長

天皇陛下の御誕生日をお祝いする 愛知県民の集い 開催さる

□去る12月23日、天皇陛下の御誕生日をお祝いする愛知県民の集いが開催された。

第1部: 愛知県護国神社正式参拝

第2部: 奉祝式典

第3部: 映画「皇室と日本人」

とプログラムが進行。御代替わりの日程が明らかとなり、平成の御代30年に深く思いを致し、伝統に基づいた皇位継承儀礼が執り行われることを切に願う集いとなった。



第41回愛知竹田研究会 開催さる

□去る12月17日、第41回愛知竹田研究会が開催された。同会は平成22年8月の発足から7周年を迎えた。竹田恒泰先生を講師として、古事記講話と時局問題の講話で進行され、毎回200名を超える受講者がある。また、青年学生スタッフも充実しており、ここからの人材輩出が期待される。



竹田恒泰先生を囲んだ懇親会にて

日本女性の会愛知 12月例会 開催さる

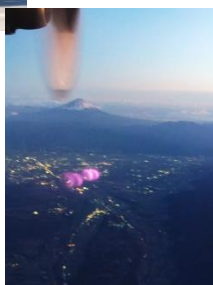


お揃いの白い衣装で合唱

□去る12月19日、日本女性の会愛知12月例会が開催された。毎回、新しい方をお誘いしやすいように、温かい雰囲気運営されているが、今回は有志により「海道東征」の一節が披露され、参加者より絶賛の拍手が湧き起った。

空自小牧基地イベント参加報告

□去る12月6日、清須市職員、清須市議20名は航空自衛隊小牧基地主催のC130輸送機体験試乗会、航空自衛隊松島基地のブルーインパルス訓練飛行見学会に参加した。



愛知県護国神社 清掃 奉仕会100回を迎える

□去る1月7日、愛知県護国神社清掃奉仕会が100回を迎えた。平成21年より始まったこの会は、毎月第1日曜の朝に開催されて来たが、台風の日にも欠かすことなく続けられている。本会会員の鈴木要吾さんは、兄上を先の大戦で亡くされたご遺族であるが、第1回より100回まで連続して奉仕されている。次の200回まで、是非お元気で参加いただきたい。



有志より花束の贈呈

昨年三月末に陵墓参拝に出かけました。この日参拝するのは嵐山の北、嵯峨野のエリアです。JR嵯峨野山陰線で嵯峨嵐山駅を下車して、レンタル自転車屋さんに向かいました。途中民家の一本の梅の木が満開で十名前後のアジア系外国人がかわるがわる写真を撮り合っていました。その人ごみをすり抜けレンタル自転車屋さんに向かいましたが、お店の前には何と行列ができていました。そして車庫の中はほとんど空っぽです。ひやひやしながら行列に並び待ちました。それでも何とか目当ての電動アシスト付き自転車を借りることができました。



まずは桜を少し期待して渡月橋に向かいましたが、全く咲いていませんでした。さて気を取り直して参拝開始です。まず初めに向かったのは大覚寺門前の交差点のすぐ西側にあります。後宇多天皇の皇后、姪子内親王の今林陵です。姪子内親王は後深草天皇の皇女です。大覚寺統の後宇多天皇は当時対立していた持明院統の後深草天皇の皇女の姪子内親王を見初めて盗み出してしまったとのこと。大問題となったそう

すが、この上なく大切にされたそうです。合掌。



次に向かったのは大覚寺の南に隣接する京都府立北嵯峨高等学校の敷地の南側にある入道塚陵墓参考地と同校の北西角にある円山陵墓参考地です。入道塚陵墓参考地の被葬者は淳和天皇皇子の恒貞親王と考えられています。円山陵墓参考地の被葬者は淳和天皇の皇后、正子内親王と考えられています。親子です。合掌。



次は大覚寺の敷地の北側に回り込んだところに大覚寺宮墓地があります。合掌。さて次は久しぶりの嵯峨天皇の嵯峨山上陵です。大覚寺宮墓地の西百五十メートル地点の山の麓に自

転車を停めて五百三十二段のつづらおり階段を一気に登りました。息が切れ汗だくになりました。二礼二拍手一礼。下りはゆっくり見晴らしの良い景色を楽しみながら下りてきました。大覚寺の大沢池と宝塔がきれいに眺めることができます。その向こうには広沢池も見えます。



（愛知県本部事務局 松川秀康）
（次号に続く）
事務局日誌（十二月）
服部守孝

四日（月）第二回憲法改正推進団体代表者会議を開催。各界より代表二十一名の参加があり、国民投票に向けた小選挙区ごとの連絡組織を構築する方針が決定された。
六日（水）明年の戦争展に向けた企画会議に出席。展示内容を、「日本の歴史に光を当て、日本人としての喜びと誇りが持てるものになろう」と意見がまとまり、日本の海外進出と統治について研究発表することとなった。
十七日（日）第四十一回愛知竹田研究会に参加。終了後は、竹田恒泰先生を囲み懇親会が開催され、和やかなひと時を過ごした。
二十三日（日）天皇陛下の御誕生日をお祝いする愛知県民の集いを開催。映画「皇室と日本人」を大好評。昭和から平成の御代替わりと、それに伴う皇位継承儀礼の様子が描かれてあり、誠に時期を得た内容で、自らの三十年間と重なり合い感銘深かつたなどの感想が寄せられた。
二十五日（月）愛知県本部事務局スタッフの納会。普段はそれぞれ社会人として生業を持ちながらも、時間を工夫捻出して運動参加して下さるありがたい人たちである。総勢男子十名。ささやかな酒肴で一年を振り返りながら、楽しく過ごした。
二十八日（木）豊田市にあるオイスカ中部日本研修センターを訪問。同センターは設立五十周年を迎える十一月十一日には、櫻井よしこ氏を招いて記念講演会を開催された。
また、私どもの子弟が小中生の時代に、稲作体験として田植えや稲刈りなどをさせていただいた。このセンターでは、アジア・オセアニアからの研修生を迎え入れ、一年間の合宿生活の中で農業技術の指導をしている。今日は久しぶりの訪問だったが、村松明所長以下職員の方々が温かく迎えて下さった。ちようど餅つき大会中だったので、搗き立てのお餅をご相伴にしたり、餅つきも飛び入り参加させていただいた。

愛知県護国神社清掃奉仕予定

- 2月4日（日）午前8時開始。※清掃奉仕終了後、9時より「月参り」に参列いただけます。
- 引き続き3月4日（日）午前8時開始とします。
- 軍手を必ずご持参ください。また、小雨なら社殿の木枠拭きをしますので雑巾をご持参下さい。大雨は中止になりますが疑わしい天気の場合には、現場責任者の服部宛、電話（070-6583-4588）を下さい。1月7日は14名の参加でした。ありがとうございました。



（1月7日 奉仕後に撮影）

●「日本の息吹」を引き続きご購入くださいますようお願いいたします。



村松明所長と久しぶりの再会

村松所長と知り合い十八年となるが、印象深いお話を紹介したい。ある日、「日本には農業技術を指導する処は他にも沢山ある。わがオイスカの特徴は徹底した日本語教育にある。日本語を通じて、日本人の精神性を伝えることに尽きる」ときっぱりと仰ったのだ。確かにセンター内では日本語以外は禁止されており、研修生同士もたどたどしい日本語で会話をしている。日本語は国語であるが、「一に国語、二に国語、三四がなくて五に国語」と数学者の藤原正彦氏は名言を述べている。